

第22期第5回 佐賀県連合海区漁業調整委員会 議事録

1 日 時 令和6年8月26日(月) 11時00分から

2 場 所 佐賀県水産会館 大会議室

3 出席者 佐賀県松浦海区漁業調整委員会

会	長	川	寄	和	正
委	員	坂	本	安	則
”		川	口	安	教
”		宮	崎	雅	司
”		後	藤	政	則
”		福	良	繁	一
”		池	田	宏	子

佐賀県有明海区漁業調整委員会

会	長	西	久	保	敏
委	員	古	賀	昭	洋
”		中	島		龍
”		竹	下	泰	彦
”		古	賀	秀	昭
”		井	上	亜	紀

4 臨席者 佐賀県有明海漁業協同組合

指 導 部 部 長	有	馬	隆	文
指 導 課	糸	山	亮	平

佐賀県海区漁業調整委員会事務局

事 務 局 長	江	口	泰	蔵
主 任 主 査	川	崎	明	弘
主 事	本	間	智	希

5 議題及び議決事項

(1) 令和6年度全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議における佐賀県の要望事項について(協議)

⇒ 原案どおり承認された。

(2) その他

⇒ 事務局から全漁調連の要望に対する関係省庁の回答について報告がなされた。

6 各議題の説明者及び質疑応答の概要

(1) 説明者

議題1 江口事務局長

議題2 江口事務局長

(2) 質疑応答等

【議題(1)について】

(竹下委員)

要望事項にあるクロマグロについて、国際委員会で漁獲枠増となったということについて、現場ではどのように評価されているのでしょうか。

⇒ (江口事務局長)

最終決定ではありませんが、7月10日から16日にかけて開かれた国際委員会において、小型魚が10パーセント増、約400トンの増枠、大型魚が50パーセント増で、約2,800トンの増枠の合意がなされております。小型魚は日本国が提案した枠よりもすこし少なかったですが、一定程度増枠したものと思っております。